

播磨町の教育 — 古代から未来へ いきいき きらめく人づくり —

徳

(あいさつしよう)

豊かな心で人権を尊重し、
自覚と責任をもち、主体的に行動する人

関係機関と連携した特別支援教育に取り組んでいきます。

- ・いじめや虐待、不登校がなくなるように取り組んでいきます
- ・人権課題を明確にし、課題解決への取り組みを推進していきます

知

(自ら学習しよう)

夢や志をもち生涯学び続ける人

- ・幼児から成人まで発達段階に応じた多様な学習機会の場を提供します
- ・ふるさと播磨町に希望と愛情がもてる温かなふれあいの場を創造していきます

播磨町に誇りをもち
いきいき きらめく人

体

(体をきたえよう)

健やかな体をもち、
自他の命を大切にす人

- ・生涯にわたって続けられる健康・体力づくりを提案していきます
- ・進んで参加できるスポーツ活動の催しを提供していきます



具体的な取り組み

▼児童と園児



今年度も播磨町の学校教育および社会教育についての教育広報を、広報はりまの紙面にてお伝えしていきます。年度のはじめにあたり、『播磨町の教育』と題し、播磨町の教育重点項目についてお知らせします。

▶問合せ 学校教育グループ ☎079(435)0345

1. 自立して社会で生きていく力を育てる
2. 家庭・学校園・地域社会との連携を密にし、きめ細かな取り組みを進める
3. わがまちふるさと播磨町に誇りをもち、生涯にわたって、いきいきと学び続ける機会や場をつくる

1 幼児教育の充実

- ・保育園と幼稚園との連携を強化します
- ・福祉グループと連携し、保護者と共に就学前教育を充実させます
- ・特別な支援の必要な子どもに対して、適切に対応します
- ・保護者との連携をより密にし、共に子どもを育てていきます

2 知・徳・体のバランスのとれた児童生徒の育成

- ・教科指導などに効果的なICT機器の活用や、特別支援教育の視点を加味した授業改善を進めます
- ・道徳の実践力を高めるために、道徳の授業を充実させます
- ・各学校園の実態を踏まえた体力づくりと保健教育の充実を図ります
- ・校種間の連携を強化し、幼・小・中の接続を円滑にします
- ・教科専門指導教諭を全小学校に配置し、きめ細かい指導を実施します
- ・小学校外国語活動の指導技術やカリキュラムを充実させます

4 家庭・学校・地域社会の連携

- ・オープンスクールの実施、各学校のホームページ、学校だよりなどをより充実させ、開かれた学校を目指します
- ・家庭教育の充実を図るために、学習機会の場や家庭教育のための啓発資料を発行します
- ・学校支援本部事業などで地域の教育力を活用し、放課後子ども教室をより充実させ、町全体で子どもを育てる取り組みを進めます
- ・児童生徒の理解を深め教職員と児童生徒の信頼関係を築き、望ましい人間関係づくりと集団指導・個別指導の充実に努めます。また、家庭や地域社会及び関係機関との連携・協力を密にし、児童生徒の健全育成を広い視野から考える開かれた生徒指導の推進を図ります



▲パソコン教室



▲放課後子ども教室

6 人権教育の推進

- ・人権啓発活動の一環として「共に生きよう ふれあいのまち」映画会、「こころふれあう 町民のつどい」講演会を開催するとともに、コミセン区主体の「コミセンのつどい」を支援します
- ・身近な人権課題に視点を置いた住民主体の「いきいきフォーラム」などを支援し、地域のよりよい人間関係づくりを推進します
- ・「人権尊重の地域づくり事業」を実践する自治会へ支援します
- ・学校園では、デートDVをはじめとする新たな人権課題に対応した人権教育を推進します



▲いきいきフォーラム

3 信頼される教育環境

- ・計画的に大規模改修に取り組めます
- ・新たな不登校生徒の出現をなくすとともに、再登校支援に粘り強く取り組みます
- ・児童生徒理解を深め、保護者とともに、いじめ・不登校・問題行動の未然防止に努めます
- ・教職員の実践に生きる研修を充実させると共に、各教職員の授業改善の工夫や研究を共有化し全教職員の力量を高めます
- ・一人ひとりの課題やニーズに応じた特別支援教育を充実させ、県立東はりま特別支援学校との連携を強化します
- ・若年・中堅・ベテラン教職員の新たな研修体制をつくり、教師力を高めます
- ・播磨町教育総合サイトの活用により、各学校園の研究成果を他の学校園に波及させ、町全体の学校力を高めます



▲ふれあいルーム

5 生涯学習の推進

- ・社会教育及び社会体育施設の改修を計画的に行い、施設の充実と安全に努めます
- ・スポーツ推進委員及びスポーツクラブ21はりまの指導者やコーチの養成を行うとともに、学校園との連携を図り、健康・体力づくりを推進します
- ・興味あるテーマを図書館の本や資料などを使って研究する「調べる学習コンクール」を開催します
- ・大中遺跡や郷土の先覚者など、町の文化・歴史への理解を深め、ふるさとへの愛着を高める活動を推進します



スポーツ推進委員▶

ボルテージ最高！ サプライズ祭り



▲空き缶積みを楽しむ幼稚園児

播磨南小学校

1月26日にサプライズ祭りが行われました。まず、第一部として体育館で「歌っていいとも」が行われました。これは、29組参加の予選を勝ち抜いた9組のグループが、歌とダンスのうまさを競い合うイベントです。終了後、全校児童が投票し、その結果「ライジングサン」を歌った6年生「ザボーイズ」が見事優勝を果たしました。

午後からは、第二部として、空き缶積みや迷路など各クラスで企画準備されたいろいろなイベントが行われました。また音楽室では、5、6年生が劇を発表する「南笑シアター」が行われ、会場は爆笑の渦に巻き込まれました。児童はイベント案内手帳を手に、各コーナーを回り、受付でご褒美シールを貼ってもらっていました。播磨幼稚園からも来年入学する園児も含めたくさんのお友達が来て、サプライズ祭りは大変盛り上がりしました。

スキー『学』宿



▲ハチ高原スキー場で

播磨中学校 1年生

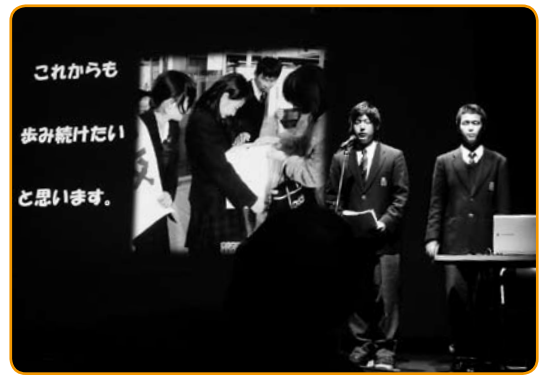
1月24日から26日まで、1年生のスキー『学』宿をハチ高原スキー場で行いました。今年も学ぶことを意識し、あえて合宿を学宿としました。

スキー実行委員を組織し、自分たちでルールや約束事を考え、スキーのしおり作成・レクの企画・運営もしました。1年生全員が楽しみながら、しかもきびきびと行動し、大成功に終わりました。

実習ではインストラクターの指導で、滑り方や曲がり方、止まり方などを習得し、どんどん上達しました。また、今年は大雪で冬山の厳しさも経験しました。

この経験を生かして残りの学校生活を充実したものにし、2年生への足がかりとしてほしいものです。

地域貢献事業発表会 東播磨代表



▲地位貢献事業プレゼン

播磨南高等学校

1月28日、神戸アートのビレッジで開催されました地域貢献事業発表会に、東播磨代表として参加させていただきました。県下8校と、当日は宮城県の代表校の発表がありました。播磨町内唯一の県立高校として、播磨町の一大イベントともいえる大中遺跡まつりを中心に、活動実績を発表しました。本校の特色の1つであるボランティア活動を通して、地域の方々とかかわり、成長させていただいていることに改めて気づくと共にこれからの活動の指針を得たと思います。

残念ながら、入賞は出来ませんでした。生徒会一同、やりきった思いも強く、今後この活動を、次期生徒会につなげていきたいと考えています。



はりまっ子から東北へ 元気を届けよう集会



▲気持ちを込めて歌いました

播磨小学校

昨年の3月11日の東日本大震災で被災された東北の方々のために播磨小学校ができることを話し合いました。5月には全校で募金を集め5万円余りですが、赤十字に送りました。今回は、お金ではなく気持ちを届けようという事で、被災地の小学校（宮城県気仙沼市）に元気になる歌を届けることにしました。歌った歌は、阪神大震災の後で作られた『しあわせ運べるように』です。東北の人に伝わるよう歌詞を少し替えて練習しました。

集会の2月20日には、まずアイデアをわくわくワークの代表者がメッセージを読み上げ、その後全校生で大合唱をしました。これをDVDに入れて届けました。一緒に手作りのステンドグラスの飾りも入れました。播磨小のみんなの気持ちも東北に届きますように。

交通ルールを守ろう 子ども安全の日



▲“右、左、右”を見て安全確認

蓮池幼稚園

今日は、月に1回の子ども安全の日。親子で、交通ルールを意識しながら歩いて登降園する日として、大切にしています。園周辺の車の通る道に立っているPTAの役員さんや先生、お家の人と一緒に車が来ていないか「右、左、右」を見て安全を確認し、「今、渡れる！」と渡る子どもたち。交通ルールを守るこの大事なを繰り返して知らせることで、親子が一緒に守ることが身に付いてきています。

「渡っても大丈夫か？」と子どもに声を掛ける保護者や、「車きているからストップ」と自分で判断して止まる子どもが増えてきました。そして、親子で並んで安全な道の端を歩くようにもなってきました。交通のきまりが身に付く機会として、また、親子で歩いて登降園する楽しさを感じられる機会としてこれからも大切にしていきたいと思えます。

おはなし たのしいな！



▲子どもたちはお話の世界へ

播磨幼稚園

播磨幼稚園では年長が月に1回、播磨町立図書館へ出かけ、お話を聞かせていただいています。年中も3学期からお話を聞きに図書館に行きます。今日は年中児が初めての図書館の日。朝から早く行きたいとワクワクしていました。

普段は行かない図書館の2階の部屋に行く時は少し緊張気味。ろうそくに火が灯るとあたりは静かな雰囲気になり、子どもたちはお話の世界へ入っていききます。素話や絵本、手遊びなどのお話を聞き終わった後は「おもしろかった」「もっと聞きたい」など子どもたちのつぶやきが聞こえてきました。

これからもたくさんのお話に触れる機会を大切に、絵本が大好きな子どもたちになっしてほしいと願っています。図書ボランティア、図書館の皆さまにはいつも楽しいお話をありがとうございます。

「ともがんぱろう」

